令和5年度 第3回多摩区支え合いのまちづくり推進会議 会議録

会議の概要

開催日時		令和5年9月27日（水）13時30分から15時00分まで	
開催場所		多摩区役所 11階 1101～1103 会議室	
出席者の氏名	委員	安陪修司（多摩区商店街連合会） 有北郁子（多摩区子ども総合支援連携会議） 岩田和可（多摩区地域自立支援協議会 北部基幹 相談支援センター） 大澤敏夫（川崎市多摩区社会福祉協議会 菅地区社会福祉協議会） 大津努（稲田地区社会福祉協議会） 小川町子（多摩区食生活改善推進員連絡協議会） 奥沢邦雄（中野島地区社会福祉協議会）	和秀俊（田園調布学園大学） 木澤静雄（登戸地区社会福祉協議会） 岸忠宏（多摩区医師会） 小山富士子（多摩区子ども会連合会） 佐久間真弓（よみうりランド花ハウス 地域包括支援センター） 永仮都子（生田地区社会福祉協議会） 松澤明美（多摩区民生委員児童委員協議会） 松本英嗣（多摩区町会連合会）
	多摩区地域包括ケアシステム推進本部幹事会・多摩区支え合いのまちづくり推進会議 事務局	藤井智弘（多摩区長） 町田昭一（危機管理担当課長） 鈴木智晴（総務課長） 相原剛史（企画課長） 上野進（地域振興課長） 柏原美由紀（生涯学習支援課長） 渡辺陽一（区民課長） 石渡慎也（保険年金課長） 吉澤朋充（生田出張所長） 大田祈子（児童家庭課長） 金元大祐（高齢・障害課課長補佐） 高橋みゆき（保護第1課長） 徳丸千大（保護第2課長） 小倉充子（衛生課長） 大谷里美（保育所等・地域連携担当課長） 井野康信（道路公園センター管理担当課長）	武田克巳（地域みまもり支援センター所長） 浅見政俊（地域みまもり支援センター副所長） 中山礼子（地域ケア推進課長） 曾我利江（地域支援課長） 小川裕美子（地域支援課地区支援第2係長） 林史大（地域ケア推進課企画調整係長） 杉本光一郎（地域ケア推進課企画調整担当係長） 高橋公（地域ケア推進課企画調整係）
欠席委員		内田由美子（川崎市多摩区社会福祉協議会地域課） 山岸勝子（多摩区老人クラブ連合会）	
議 事		（1）第7期多摩区地域福祉計画の素案について （2）意見交換	
傍聴人の数		なし	

配付資料	[配布資料] 資料 1…会議での御意見や意見シートの御意見について 資料 2…第7期多摩区地域福祉計画（素案） 資料 3…第7期多摩区地域福祉計画に掲載するイラストについて 参考資料1…名簿 参考資料2…令和5年度第2回多摩区支え合いのまちづくり推進会議 会議録 参考資料3…第7期多摩区地域福祉計画 計画策定スケジュール [冊子資料] 第6期多摩区地域福祉計画

議事要旨

発言者	発言要旨
事務局（中山課長）	次第1（開会）
	（会議録作成のため録音の承認）
藤井区長	次第2（挨拶）
事務局（中山課長）	・配布資料の確認 ・座長を和委員にお願いしたい旨提案→承認
和委員	御承認いただきました田園調布学園大学、和と申します、よろしくお願ひいたします。 それでは次第に従い議事を進行する。 議事（1）について事務局から説明をお願いします。
事務局（杉本係長、高橋職員）	次第3（議事）
	（1）第7期多摩区地域福祉計画の素案について 資料1、2、3の説明
和委員	事務局から、議事（1）について資料1から3まで報告いただいたが、このことについて御意見、御質問をいただきたい。
有北委員	資料1のトピック07でコミュニティガーデンについて前回提案させていただいたが、どこかに含めていただけると嬉しい。 「多摩区公園BOOK」の改訂版が先日完成した。多摩区の139か所の公園を市民で探検してまとめた非常に貴重な冊子であり、公園の管理運営協議会の募集も載っているの、コラムという形でいいので入れていただけると嬉しい。 トピック08の父親の育児参加について、「親と子の育児園」という多摩区独自事業の評判が良かったが、この事業が無くなってしまったのは残念である。 先ほどの事務局からのトピックの説明で、こども未来局の事業と資料にあるが、該当の93～105ページに「父親」という言葉が出ているか。若いお父さんたちの育児参加も増えてきているが、父親に対して働きかけをしていただきたいと思う。
和委員	過去の会議で松本委員から、公園で住民と一緒に考えたイベントに500人集まったという話を聞き、有北委員のコミュニティガーデンとつながるかと思ったので、状況を教えていただきたい。
松本委員	登戸駅の近くに「登戸3号街区公園」という1,500㎡の公園が完成し、6月24日にオープニングイベントを若い人を中心に開催した。500個ほどお菓子を用意したがあっという間になくなり、公園中が人で溢れてしまうぐらい集まってくれた。担い手不足問題が私の町会でもあるが、こういう場をつくると賛成してくれる人たちや町会関係者からの声かけ等もあり、とても素晴らしい活動ができた。この動きを止めないように、“ゴミゼロ公園”を掲げてゴミの清掃を毎週土曜日早朝に行っている。 7月に民家園通り商店会のお祭り、8月初めに狛江の花火大会があり、その後

発言者	発言要旨
	流れてきた人たちが公園で飲食して汚して帰るということがあった。翌日は土曜日ではなかったがゴミの清掃を行った。これからも続けていければいいと思っている。
和委員	駅周辺を含めて街が新たになっていく中で、公園が一つキーとなって町会や商店会の活動に連動して、次世代の発掘、育成につながっていく好事例だと思っている。松本委員の話を伺って、多摩区に合ったコミュニティガーデンのようなものが出来るのかなと思っている。
岩田委員	障がい者の統計を載せていただき、目次も分かりやすくしていただいた。御配慮ありがとうございます。 素案の104ページ69番の多摩区精神保健福祉連絡会議の協働・連携団体等にある「支援センター」と「障害者センター」が何を指しているのかが非常に分かりにくい。68番の多摩区自立支援協議会には「障害者相談支援センター」という書き方をされている。御利用者の中にはこれを見て、どのような団体があるのかわかりにくいので、特定できる書き方、統一した書き方をしたほうがいいと思う。もし、これらが違うものを指しているのであればそれでいいが、同じものを指しているのであれば統一していただけるとありがたい。 今後の要望だが「地ケアTAMA」の高齢者・障がい者の項目で、まだ障がいの活動が活発ではないので取材を受ける機会がなかったのかと思うが、今後、我々も尽力していくので、障がい者の方の活動にも目を向けていただければと思う。
事務局（金元課長補佐）	一つ目の質問について、101ページ57番の協働・連携団体として「地域相談支援センター」となっており、68番とも異なる表記をしているので、こちらも含めて表記を統一させていただきたい。
事務局（林課長補佐）	「地ケアTAMA」への掲載について、障がい分野でいうと「パサージュ・たま」の取組についてチラシ、リーフレット、動画などを制作し広報を行っている。「地ケアTAMA」への掲載については検討させていただければと思う。
岩田委員	高齢者・障がい者の項目に高齢者のことしか載っていないという趣旨で発言した。今回、障がい者の部分が載っていないという点について御配慮くださればと思う。
松本委員	地域振興課で行事、活動を一般向けにやっているが、計画書の中にあまり出ていない。抽象的な言葉でまとめるのではなく、ウォーキングイベントなど具体的な内容を載せていただいたら参加する人もいると思う。
事務局（上野課長）	今、言われたとおりウォーキングなど健康に関わる事業を行っている。内容を確認し、地域ケア推進課に話をしたい。

発言者	発言要旨
和委員	有北委員の2点目の質問、父親の件について回答いただきたい。
事務局（大谷課長）	先ほど申し上げたように、多摩区内の保育所を使って父親の育児参加の事業を行っている。土曜日に開催することで父親の参加が多く、土曜開催を中心に行っていきたいと思う。この地域福祉計画の中では父親という言葉は使っておらず、98ページの38番「子ども子育て推進事業」に該当するかと思う。 時代的に父親が育児をするのは当たり前という風潮もあり、「父親」と大きく見せることはしなくなってきた。ただ、父親の育児参加は必要なことであり、これからも推進していく必要があると思っている。私たちも試行錯誤しながら父親の育児参加を呼びかけているところである。
有北委員	当たり前になってきていると思っている方も多いかと思うが、実際の現場では当たり前ではない状況がやはりあり、共働き家庭が増えてからは母親の負担が大きくなっている。そういう点を考えると、あえて「父親」という言葉を入れないという判断は必要ないと思っている。事業として推進していくことに関しては嬉しく思っている。
事務局（大谷課長）	先ほど父親も育児するのが当たり前だと話しましたが、現状としてはおっしゃるように父親の育児参加は母親と比べたらやっぱりまだまだな部分があるので、父親の育児参加を呼びかけているところである。父親の育児・子育て体験講座という言葉の名前として残している事業もある。土曜日に開催することで父親の育児参加も広げていけるよう考えていきたい。
安倍委員	「担当課」という記載に引っかかった。106ページにある「各事業・取組担当課連絡先一覧」に「担当課」と書かれているが、初めて福祉に対応してもらいたい方が行く時にどこに行けばよいか迷うこともあると思う。計画書なので視点が違うかもしれないが、「相談窓口」としてもよいのでは。
和委員	今、安倍委員がおっしゃったことは良いと思う。今回の計画書は区民に寄り添った分かりやすい方向に仕上げているので、106ページの「連絡先一覧」、「担当課」と無機質な感じがもったいない。ここに相談すればいいのか、と柔らかに歩み寄れるような見せ方ができるといいと改めて思ったがどうか。
事務局（林課長補佐）	「相談窓口」という記載について、検討させていただければと思う。
佐久間委員	今のことに関連するが18ページから22ページの間で、関心があった時にページをめくって探すのが面倒と思う方もいるので、「問い合わせ先、窓口は106ページに記載」と表記があると探しやすいのではないか。また、第6期の資料編には、「多摩区町丁別にみた地区組織」があったが、川崎市の場合は1町会1民生でもなく社協の分割も違うので、私たちにはこれが分かりやすい。これは第7期にも載るのか伺いたい。第6期に比べて第7期は実際に活動している方の顔や、地域の知り合いの方が載っており、身近な感じがいて良い。
事務局（林課長補佐）	第6期計画の108ページの「多摩区町丁別にみた地区組織」については、第7

発言者	発言要旨
	期では 53 ページから各地区の状況などを掲載させていただいており、第 6 期のよ うな表はページ数の関係上載せる予定はない。 問い合わせ先については、資料編の 93 ページからの表の下に、「各事業・取組 担当課連絡先を 106 ページに掲載」していると表記している。11 ページ以降にも 載せたほうが分かりやすいということであれば、調整させていただきたい。
岩田委員	第 6 期の資料編 110 ページからの資料は第 7 期にはないという認識でいいか。 電話番号や相談支援センターが載っており、分かりやすかったと思う。 第 7 期にも障害者相談支援センターと写真付きの項目があったと思うので、も しよければ、そこに例えば川崎市のホームページに連絡先があるとか、パンフレ ットなどを案内として載せていただくことは可能か。そうすると行政の窓口集中 して電話がかかるといったことが生じないのではないかと思います。
和委員	佐久間委員と岩田委員からの御指摘は、実際に使われている方の視点で考える と盛り込む必要があるかと思う。今回は相当ページ数が多いと思うが、工夫をし ながら検討していただきたい。
岩田委員	第 7 期の資料編の 93 ページからの表に行政と協働・連携する団体が書かれてい るが、そこを主催はどこかという書き方では駄目なのか。そこが窓口と分かり電 話番号を載せておくといいと感じたが、どこと連携を取っているかを知らせる目 的ならばこのとおりとも思う。
和委員	事務局として、今の御意見はどこまで反映できそうか。
事務局（林課長補佐）	各事業名の右端に所管課名を掲載させていただいているが、それとは別のものか。
岩田委員	これでは行政の窓口へ皆さんが情報を取りに行くことになるかと思っており、 直接主催へ、例えば基幹相談支援センターに繋がりたい人が直接電話するとワン ストップで受けやすいということがある。 情報はこの冊子だけではないが、たまたまこの冊子から入った方が巡り巡って やっと相談支援センターにたどり着くということになるより、第 6 期の資料編の 良さを盛り込めないかという思いがある。
和委員	改めて第 6 期計画の資料編 108 ページ以降は、実践で使われる方にとって非常 に見やすいようだが掲載することはどうか。電話帳的に連絡先を見た後に計画は どうなっているか逆引きになる可能性もある。
事務局（林課長補佐）	ページの関係もあるため、調整をさせていただきたい。
佐久間委員	43～44 ページ、53～54 ページに地図が載っているが、これらの地図が見にく く、どこが担当範囲か見てもわからないという住民の声もあったので、地図を何 か所かに載せるより、第 6 期の資料編を載せていただけないかと思う。
岩田委員	55 ページの地図で、多摩基幹相談支援センターは北部基幹相談支援センターに 吸収されているので削除をお願いしたい。
和委員	今回素案という形で提示させていただいているが、貴重な意見をたくさんいた

発言者	発言要旨
	だき、出来るだけもう一工夫、二工夫していただき、第8期計画に向けて反映していただきたい。 岩田委員から「地ケアTAMA」に障がいをお持ちの方たちの活動が、掲載されていないということでしたが、まだ vol. 4、5 ですし、多摩区の障がい者の方の活動を存じているので、これから取材が入るのではないかと。
木澤委員	登戸に来て40年以上になるが、多摩区登戸に和泉という地名があることを知らなかった。せっかく地図を付けるならば、この場所がどの辺りか分かるように出していただけたらと思う。
和委員	分かりづらさについては工夫が必要かもしれない。
大津委員	地図の話題に関連して、各地区に子ども公園があるが、子ども公園をどう扱うか御検討いただきたいと思う。 その地区にそれぞれ地名を冠した公園があると思う。そこに行政の配慮で滑り台、ブランコ、砂場等があり、子どもたちは楽しんで利用している。地図の検討の際に配慮いただければと思う。
奥沢委員	市営住宅に公園が3つあるが、ほとんど使われていない。子どもが遊ぶだけのスペースがないのにいろいろな遊具がある。自治会で管理しているが、草刈りなど管理しきれていないのが問題である。
大津委員	私どもの町会の委嘱で、地域の老人クラブのメンバーが毎月1回子どもの公園の掃除をさせていただいている。
和委員	有北委員が前回御提案いただいたコミュニティガーデンも、公園の管理をどうしていくかというのが必要かもしれない。
有北委員	関わってくださる人たちがいる地域とない地域があり、それをどうするかはコミュニティの大きな問題になっていくと思う。公園を中心としたコミュニティづくりが進んでいると思うが、地域福祉計画にそれを連動させた方が早いと思う。
事務局（井野課長）	今の協議会や公園緑地愛護会の活動について、かつては60歳ぐらいで定年になり、担い手が多くいたという認識であるが、現在は65歳ぐらいまで働かれる方が多く、担い手となってから活動できる期間が短くなっているように感じている。その抜本的な解消策はまだ見つかっていない状況で、町会の方にやっていただいているが、高齢化が進展して活動が難しいということはある。 新たな担い手は全市的に模索中だが、新たな担い手を探して、代わりではなく一緒に活動出来たらと考えている。
木澤委員	参考になるかわからないが町会で公園1か所を管理している。 月に一度、4つの支部、青年部、女性部、子ども会、老人会が持ち回りで、小学生から高齢者まで携わって公園の清掃を行っている。
安倍委員	先ほど106ページにある「各事業・取組担当課連絡先一覧」に、担当課及び相

発言者	発言要旨
	談窓口としていただけないか質問したが、団体名の連絡先を明示されると担当者は相当苦勞する。区役所のこの部署の電話番号はこの相談窓口、と入れていただければ、行政には相当負担をかけることと思うが、各団体の負担も少なくなる。
和委員	折衷案で折り合いをつけていくのが良さそうである。 公園の管理について、前回、有北委員からコミュニティガーデンを御提案いただき、実は多摩区は町会含めて公園の管理や運用、実践含めてこの地域福祉につながりそうだという事が見えた気がする。今期計画にそれを反映させるというのは難しいと思うが、緑化フェアもあり、それを経てどのように変わっていくかも含め、次期8期計画に反映出来たら、多摩区らしい地域福祉計画が出来るのではないか。
永仮委員	100ページの49番「多摩区・3大学連携事業」あるが、明治大学と専修大学ともう一校はどこか。
事務局（相原課長）	日本女子大学はキャンパスが東京都内に移転しているが、多摩区にゆかりのある大学という形で取組を進めさせていただいている。
小山委員	第6期の108ページからの資料は参考になるので、是非入れてもらいたい。
松澤委員	最近ポスターを見て、自治会長に民生委員について知りたいという問い合わせがあった。ポスターを作った人に感謝している。もっとPRして広げていったらいいと思っている。
和委員	民生委員は地域福祉の担い手として欠かせない存在である。町会の掲示板にポスターが貼ってあるが、見ている人がいると思うと安心する。 今、学生民生委員や子ども民生委員が関西、中部地区で始まってきている。大学生と民生委員とのコラボレーションや、子どもたちも民生委員と一緒に活動するなどの取組によって、民生委員が増えていくきっかけになればいいと思う。 貴重な御意見をいただき、今期計画で反映できるものと来期計画にいかしていきたいことがあると思うが、皆さま方からの御意見を基に7期計画の完成に近づけて参りたい。
武田所長	多摩区に長く住まっていられる方の御意見、目線というのは大変貴重なものだと感じた。やはり細かいところでは皆さんの目線には全然叶わないというのが率直な感想である。 次回は年明けの2月になる。そこではパブリックコメントを経て、ほぼ完成版という形を皆さまに御提示すると思うので、実質御意見を頂戴するのは最後の大会議の会議であった。年明け第4回の会議で、今回いただいた御意見がどのように反映されているか楽しみにしていただければと思う。
事務局（中山課長）	以上をもちまして令和5年度第3回支え合いのまちづくり推進会議を閉会いたします。本日はどうもありがとうございました。